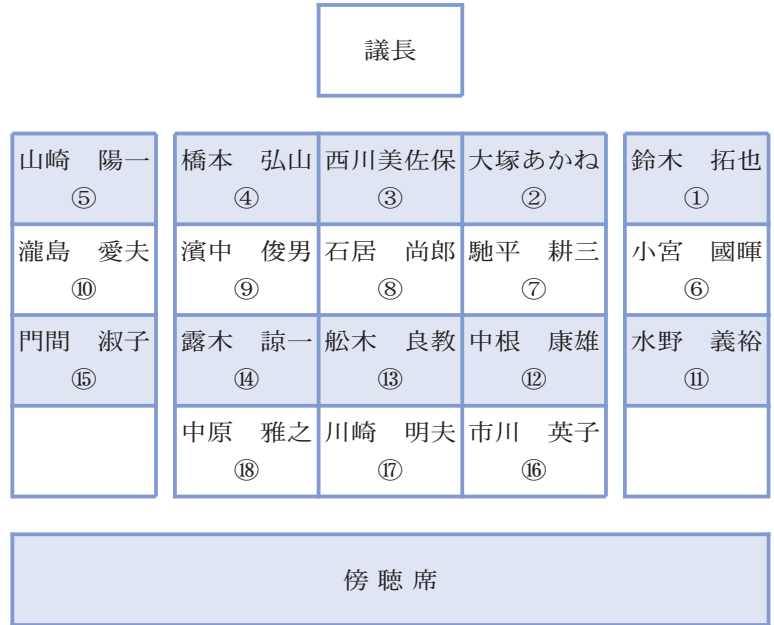


*** 会派名簿 ***

新政会	市民クラブ
橋本 弘山 ④	川崎 明夫 ⑰
濱中 俊男 ⑨	市民ネットワーク 「いきいき広場」
瀧島 愛夫 ⑩	門間 淑子 ⑮
舩木 良教 ⑬	羽村クラブ
公明党	中根 康雄 ⑫
西川美佐保 ③	羽村 21
石居 尚郎 ⑧	水野 義裕 ⑪
露木 諒一 ⑭	新しい風
日本共産党	小宮 國暉 ⑥
鈴木 拓也 ①	世論
市川 英子 ⑯	山崎 陽一 ⑤
中原 雅之 ⑱	
民主党	
大塚あかね ②	
馳平 耕三 ⑦	

*** 議席図 ***



※会派とは、政治上の主義や政策を同じくする議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。
※番号は議席番号です。

はむらで見られる **野鳥**



アオバズク

昭和 48 年以來「羽村市（町）の鳥」となっています。夏鳥として渡来し、ケヤキの大木で営巣しています。夜間、ホッホー、ホッホーと繰り返す鳴き声が聞かれます。夕方から活動し、大型の昆虫を主に食べます。昼は文字通り青葉の陰でじっとしています。

編集後記

♪清流多摩に育くまれくは、羽村一中の校歌である。この曲は、今から60年前に生まれた。当時、校歌の公募があり、採用されたのがこの曲だ。

作詞者の羽村和郎さんは、今もお元気だ。どういう心境で作詞されたのかを尋ねたら、「終戦直後でももなく、今までの教育が180度転換された中、子どもたちに日本を復興してもらいたいとの気持ちからだった。」とのこと。

その願い通り、戦後の日本は見事に復興し、世界第二位の経済大国となった。当時の中学生が、まもなく後期高齢者といわれるほどの歳月が流れ、中学生を取り巻く環境も大きく変わった。

今、羽村市立中学校3校に1千600人の生徒がいる。思いやりのある、心身共に健康な生徒を育むよう、議会の立場からも努めたい。
(濱中記)

《編集委員》

- 瀧島 愛夫 山崎 陽一
- 鈴木 拓也 大塚あかね
- 西川美佐保 濱中 俊男
- 中根 康雄